

KISSEI

証券コード：4547

決算補足資料

2026年3月期 第2四半期（中間期）

2025年11月4日

 **キッセイ薬品工業株式会社**

目 次

【第 2 四半期（中間期）決算短信 「当中間期の経営成績の概況」より抜粋】	 P 1
I. 連結損益計算書の推移	 P 2
II. 連結貸借対照表の推移	 P 4
III. 連結キャッシュ・フロー計算書の推移	 P 6
IV. 配当の推移	 P 7
V. 主な医薬品の売上推移	 P 8
VI. 新薬開発状況（自社）	 P 9
VII. 新薬開発状況（導出）	 P 9

注記

本資料記載の将来見通しは、既存の情報や様々な動向についてのキッセイ薬品による2025年11月時点での分析に基づいています。実際の業績は、事業に及ぼすリスクや不確定な事柄により見通しと異なることがあります。

【第2四半期（中間期）決算短信「当中間期の経営成績の概況」より抜粋】

・売上高の状況

医薬品事業の売上高は、38,347百万円（前年同期比4.7%増）となりました。過活動膀胱治療薬ベオーバ、顕微鏡的多発血管炎・多発血管炎性肉芽腫症治療薬タブネオス、透析患者におけるそう痒症治療薬コルスバ、慢性特発性血小板減少性紫斑病治療薬タバリスの売上の伸長などにより、増収となりました。

また、当社が創製したリンザゴリクス（一般名）の技術導出先であるセラメックス社（英国）は、子宮筋腫を適応症として2024年9月、ドイツにてYsely（イセルティ）の製品名で新発売して以降、発売国を拡大し、同年11月には子宮内膜症の追加適応症を取得しました。本剤は、当中間連結会計期間においても引き続き発売及び発売に向けた準備が進められており、輸出売上高は順調に増加しています。

当社がライジェルファーマシューティカルズ社（米国）から技術導入したホスタマチニブ（一般名、国内販売名：タバリス）は2025年7月に、本剤の韓国におけるサブライセンス先であるJWファーマシューティカル社（韓国）より新発売されました。

情報サービス事業の売上高は5,102百万円（前年同期比26.6%増）、建設・施設メンテナンス事業の売上高は1,868百万円（前年同期比42.9%増）、物品販売事業の売上高は512百万円（前年同期比4.0%増）となりました。

・利益の状況

増収を確保したものの、利益面では、売上原価率の上昇、研究開発費を主とした販売費及び一般管理費の増加により、営業損失、経常損失となりました。一方、親会社株主に帰属する中間純利益は増益となりました。なお、特別利益として投資有価証券売却益を計上しています。

・研究開発の状況

2025年7月、ビリジアンセラピューティクス社（米国）との間で、甲状腺眼症治療薬Veligrotug（一般名）及びVRDN-003（開発番号）の日本における独占的な開発権及び販売権の取得に関する契約を締結しました。また、2025年7月に急性骨髄性白血病治療薬Olutasidenib（一般名）の国内第Ⅰ相臨床試験の開始に続き、同年8月には当社が創製したバセドウ病治療薬KSP-0914（開発番号）の国内第Ⅰ相臨床試験を開始するなど、引き続き研究開発テーマのステージアップを図っています。

リンザゴリクスの海外展開については2025年10月、サーチライトファーマ社（カナダ）にカナダにおける独占的な開発権及び販売権を許諾しました。また、台湾における技術導出先であるシンモサバイオファーマ社（台湾）は、2025年10月に子宮筋腫を適応症として販売承認を取得しました。

I. 連結損益計算書の推移

(百万円)

項目	2025年3月期		2026年3月期			
	中間期	通期実績	中間期	前同比	通期予想	前期比
売上高	42,466	88,330	45,831	7.9%	95,500	8.1%
医薬品事業	36,633	75,299	38,347	4.7%	78,000	3.6%
国内医薬品	31,258	63,975	32,766	4.8%	67,200	5.0%
医薬品	29,017	59,108	30,428	4.9%	62,100	5.1%
その他*1	2,241	4,866	2,337	4.3%	5,100	4.8%
海外ライセンス	3,574	7,770	3,775	5.6%	7,200	△7.3%
技術料*2	1,430	2,209	735	△48.6%	900	△59.3%
輸出	2,143	5,561	3,039	41.8%	6,300	13.3%
ヘルスケア食品	1,800	3,553	1,806	0.3%	3,600	1.3%
情報サービス事業	4,032	8,735	5,102	26.6%	12,600	44.2%
建設・施設メンテナンス事業	1,307	3,435	1,868	42.9%	4,000	16.4%
物品販売事業	492	860	512	4.0%	900	4.7%
売上原価 (原価率%)	21,068 (49.6)	44,265 (50.1)	23,143 (50.5)	9.8%	49,700 (52.0)	12.3%
売上総利益	21,397	44,065	22,688	6.0%	45,800	3.9%
販売費及び一般管理費	19,616	38,291	29,525	50.5%	48,400	26.4%
研究開発費 (売上高比%)	7,091 (16.7)	12,889 (14.6)	16,328 (35.6)	130.3%	23,000 (24.1)	78.4%
営業利益又は営業損失(△)	1,781	5,773	△6,837	－	△2,600	－
営業外収益	786	1,542	1,400	78.0%	1,800	16.7%
受取利息及び配当金	735	1,450	904	23.0%		
その他の収益	51	92	495	868.5%		
営業外費用	330	341	184	△44.1%	300	△12.0%
支払利息	9	21	13	38.9%		
その他の費用	320	319	170	△46.6%		
経常利益又は経常損失(△)	2,237	6,974	△5,622	－	△1,100	－
特別利益	5,190	12,033	15,199	192.8%	18,600	54.6%
特別損失	269	3,398	166	△38.0%	300	△91.2%
税金等調整前中間(当期)純利益	7,159	15,610	9,410	31.4%	17,200	10.2%
法人税、住民税及び事業税	1,954	2,918	4,804	145.8%	6,500	122.8%
法人税等調整額	△47	716	△3,271	－	△2,200	－
非支配株主に帰属する 中間(当期)純利益	2	14	93	－	200	－
親会社株主に帰属する 中間(当期)純利益	5,249	11,961	7,784	48.3%	12,700	6.2%

(包括利益)

(1,447)

(△1,914)

(10,001)

(590.9%)

*1：国内販売提携先供給額、コ・プロモーションフィーの合計額

*2：ライセンスアウトに係る契約金、マイルストーン収入、ランニングロイヤリティの合計額

売上高	実績： 医薬品事業：4.7%増収 国内医薬品が増加。医薬品ではベオーバ、タブネオス、コルスバ、タバリスの伸長などにより全体で増収。また、海外ライセンス収入は、技術料売上が減少の一方、輸出売上は増加。ヘルスケア食品は微増。 その他の事業：28.3%増収 情報サービス事業が26.6%増収、建設・施設メンテナンス事業が42.9%増収、物品販売事業が4.0%増収。 予想： 医薬品事業：3.6%増収 国内医薬品では、引き続きベオーバを始めとする4品目の育成により、増収の見込み。 海外ライセンス収入は、年度前半と同様に技術料売上が減少の一方、輸出売上は増加の見込み。ヘルスケア食品は微増を見込む。 その他の事業：34.3%増収 情報サービス事業、建設・施設メンテナンス事業、物品販売事業の全ての事業にて増収の見込み。
売上原価	実績：売上原価率は0.9ポイント上昇 医薬品事業の売上原価率は製品構成の変化や技術料売上の減少などにより上昇。加えて、その他の事業も事業構成の変化などにより上昇。 予想：売上原価率は1.9ポイント上昇 医薬品事業はやや改善、その他の事業は上昇を見込む。
販売費及び一般管理費	実績：前年同期比50.5%増加 販売費、一般管理費、研究開発費の全てにおいて増加。中でも研究開発費は、新規導入テーマの契約一時金の計上などにより、130.3%の増加となる。 予想：前期比26.4%増加 販売費、一般管理費は前期並み、研究開発費は増加を見込む。研究開発費の増加は、年度前半と同様の理由による。
営業外損益	実績：有価証券評価益の計上、為替差損の減少などによる。 予想：特別なものは見込んでいない。
特別損益	実績：投資有価証券売却益の増加などによる。 予想：年度前半に加えて後半においても、投資有価証券売却益の計上を見込む。あわせて、後半では固定資産売却益を見込む。

【その他項目（連結）】

（百万円）

決算期 項目	2025年3月期		2026年3月期			
	中間期	通期	中間期	前同比	通期予想	前期比
減価償却費	2,282	4,615	2,254	△1.2%	4,800	4.0%
設備投資額	2,304	4,705	3,648	58.3%	5,200	10.5%
主要内容	生産設備等 932	生産設備等 1,904	生産設備等 2,691		生産設備等 3,200	
	その他 1,372	その他 2,801	その他 957		その他 2,000	
期末従業員数(人)	1,811	1,778	1,830	52	—	—

Ⅱ．連結貸借対照表の推移

(百万円)

項目		決算期	2025年3月期		2026年3月期 中間期	増減 (対前期末)
			中間期	期末		
資 産	流動資産		107,009	106,980	119,876	12,896
	現金及び預金		26,444	25,169	36,324	11,154
	受取手形、売掛金及び契約資産		27,433	29,654	28,344	△1,310
	特定金銭信託及び有価証券		25,202	25,286	27,540	2,254
	棚卸資産		26,313	24,980	26,242	1,261
	その他の流動資産		1,615	1,889	1,424	△464
	固定資産		153,329	137,079	141,249	4,169
	有形固定資産		26,149	27,069	29,762	2,692
	無形固定資産		1,863	1,894	2,005	110
	投資その他の資産		125,316	108,115	109,481	1,366
	投資有価証券		100,663	84,869	86,945	2,076
	長期前払費用		15,424	12,708	11,707	△1,001
	退職給付に係る資産		7,629	8,804	9,245	440
	繰延税金資産		459	566	496	△69
	その他の投資等		1,156	1,184	1,105	△79
	貸倒引当金		△18	△18	△18	－
資産合計			260,339	244,059	261,125	17,065

現金及び預金	・主として、利益による増加
受取手形、売掛金及び契約資産	・医薬品事業における減少、その他の事業においても減少
棚卸資産	・医薬品事業における商品及び製品の減少、その他の事業における仕掛品の増加
有形固定資産	・減価償却による減少の一方で、医薬品事業における建物及び構築物、「その他」に含まれる機械及び装置の増加と建設仮勘定の減少
投資有価証券	・売却による減少の一方で、時価評価による含み益の増加
長期前払費用	・減価償却による減少

(百万円)

項目		決算期	2025年3月期		2026年3月期 中間期	増減 (対前期末)
			中間期	期末		
負 債	負債合計		39,568	33,933	48,500	14,567
	流動負債		19,448	16,578	33,575	16,997
	支払手形及び買掛金		5,243	4,602	7,756	3,154
	短期借入金		1,260	1,280	1,270	△10
	未払法人税等		2,145	1,474	5,095	3,621
	契約負債		1,011	1,033	805	△227
	その他の流動負債		9,788	8,189	18,649	10,459
	固定負債		20,119	17,354	14,924	△2,429
	繰延税金負債		19,257	16,481	14,082	△2,398
	その他の固定負債		862	873	842	△30
純 資 産	純資産合計		220,770	210,126	212,625	2,498
	株主資本		166,120	165,550	165,833	282
	資本金		24,356	24,356	24,356	－
	資本剰余金		24,226	24,226	24,243	17
	利益剰余金		130,747	131,488	132,746	1,257
	自己株式		△13,209	△14,520	△15,513	△992
	その他の包括利益累計額		53,537	43,453	45,546	2,093
	非支配株主持分		1,113	1,122	1,245	123
負債及び純資産合計			260,339	244,059	261,125	17,065

支払手形及び買掛金	・医薬品事業における増加、その他の事業においても増加
未払法人税等	・医薬品事業における所得増に伴う増加
その他の流動負債	・医薬品事業における未払金の増加
繰延税金負債	・投資有価証券の含み益増加に伴う増加の一方、法人税等調整額の減少による減少
利益剰余金	・期中配当金支払いによる2,354百万円の減少、自己株式の消却による4,173百万円の減少、親会社株主に帰属する中間純利益による7,784百万円の増加
その他の包括利益累計額	・投資有価証券の含み益増加に伴うその他有価証券評価差額金の増加、退職給付に係る調整累計額の減少

Ⅲ. 連結キャッシュ・フロー計算書の推移

(百万円)

項目	決算期 2025年3月期 中間期	2026年3月期 中間期	増 減
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,775	7,987	5,212
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,779	12,782	10,003
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,960	△7,663	△5,702
現金及び現金同等物に係る換算差額	△40	7	47
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,553	13,114	9,561
現金及び現金同等物の期首残高	45,887	48,158	2,271
現金及び現金同等物の期末残高	49,440	61,273	11,832

主な増減要因（前年同期比）

1. 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、棚卸資産の増加などの資金減少要因の一方で、その他流動負債、仕入債務の増加などの資金増加要因により、前年同期に比べ5,212百万円増の7,987百万円となりました。

2. 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果得られた資金は、投資有価証券の売却などにより、前年同期に比べ10,003百万円増の12,782百万円となりました。

3. 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、自己株式の取得、配当金の支払いなどにより、前年同期に比べ5,702百万円支出増の7,663百万円となりました。

IV. 配当の推移

(円)

項目 \ 決算期	2023年 3月期	2024年 3月期	2025年 3月期	2026年 3月期予想
中間配当	40	41	45	60
年間配当	80	82	100	120

(%)

配当性向	35.0	33.3	36.5	39.3
------	------	------	------	------

(参考)

(百万円)

自己株式の取得	－	6,000	5,292	5,216
(取得株式数)	－	(1,910千株)	(1,400千株)	(1,369千株)
自己株式の消却	－	5,704	3,981	4,173
(消却株式数)	－	(2,500千株)	(1,400千株)	(1,369千株)

(%)

総還元性向	35.0	86.8	80.6	80.2
-------	------	------	------	------

V. 主な医薬品の売上推移

(百万円)

製品名	決算期 2024年 3月期	2025年3月期		2026年3月期			
		中間期	通期	中間期	前同比	通期予想	前期比
過活動膀胱治療薬 ベオーバ	15,335	8,793	18,662	10,222	16.3%	21,000	12.5%
MPA ^{*1} 、GPA ^{*2} 治療薬 タブネオス	5,161	4,224	8,989	5,607	32.7%	11,800	31.3%
透析そ痒症治療薬 コルスバ	757	2,251	5,284	3,793	68.5%	8,000	51.4%
高リン血症治療薬 ピートル	5,241	2,361	4,442	2,069	△12.3%	4,000	△10.0%
慢性ITP ^{*3} 治療薬 タバリス	818	984	2,190	1,648	67.5%	3,700	68.9%
腎性貧血治療薬 ダルベボエチン アルファBS注JCR	4,077	1,941	3,792	1,820	△6.2%	3,500	△7.7%
糖尿病治療薬 グルベス、グルファスト	3,806	1,703	3,209	1,391	△18.3%	2,800	△12.7%
腎性貧血治療薬 エボエチンアルファBS注JCR	2,336	962	1,771	761	△20.9%	1,500	△15.3%
潰瘍性大腸炎治療薬 カログラ	1,091	627	1,153	586	△6.4%	1,200	4.1%

*1：顕微鏡的多発血管炎

*2：多発血管炎性肉芽腫症

*3：特発性血小板減少性紫斑病

Ⅵ. 新薬開発状況（自社）

（2025年11月現在）

一般名／開発番号	予定適応症	主な作用等	開発段階	開発区分等
リンザゴリクス ／KLH-2109	子宮筋腫	GnRHアンタゴニスト	申請中	創製品
	子宮内膜症		第Ⅲ相	創製品
Cretostimogene grenadenorepvec ／CG0070	高リスク患者における 筋層非浸潤性膀胱がん	腫瘍溶解性ウイルス療法	第Ⅲ相	導入品／CGオンコロジー(米国)
ロバチレリン ／KPS-0373	脊髄小脳変性症	甲状腺刺激ホルモン放出ホルモン (TRH)作用	第Ⅲ相	導入品／塩野義製薬
Matsupexole ／KDT-3594	パーキンソン病	ドパミン受容体刺激作用	第Ⅱ相	創製品
Olutasidenib	再発／難治性 急性骨髄性白血病	IDH1阻害作用	第Ⅰ相	導入品／ライジェル(米国)
KSP-0914	バセドウ病	甲状腺刺激ホルモン(TSH)受容体 阻害作用	第Ⅰ相	創製品

※ 前回公表時（2025年7月）からの変更点

Olutasidenib（再発／難治性急性骨髄性白血病） 臨床試験準備中 → 第Ⅰ相
KSP-0914（バセドウ病） → 第Ⅰ相（新規記載）

Ⅶ. 新薬開発状況（導出）

（2025年11月現在）

一般名	予定適応症	主な作用等	実施国・地域	提携企業	開発段階
リンザゴリクス (linzagolix)	子宮筋腫	GnRHアンタゴニスト	台湾	シンモサバイオファーマ(台湾)	承認取得
			4か国 ^{*1}	セラメックス(英国)	承認申請中
			韓国	JWファーマ(韓国)	第Ⅲ相
	子宮内膜症		3か国 ^{*2}	セラメックス(英国)	承認申請中
シロドシン (silodosin)	前立腺肥大症に伴う排尿 障害	α1Aアドレナリン受容体 拮抗作用	ベトナム、他	エーザイ(日本)	承認申請中

*1 スイス、ブラジル、南アフリカ共和国、メキシコ

*2 ブラジル、南アフリカ共和国、メキシコ

※ 前回公表時（2025年7月）からの変更点

リンザゴリクス（子宮筋腫・台湾） 承認申請中 → 承認取得
リンザゴリクス（子宮筋腫・韓国） → 第Ⅲ相（新規記載）